



創刊
昭和42年10月10日
第144号
平成28年6月30日
能代市教育委員会
学校教育課
題字 元能代市教育長
鎌田 宏

巻頭言



当たり前前を考える

第四小学校長

川尻茂樹

5月20日の毎日新聞に「当たり前前の安全に感謝したい」という東京都の中学生からの投稿が載っていました。社会科の授業で世界の子どもたちが通学する様子を映したドキュメンタリー映画を見て、普段安全に通学できる当たり前前のことが、本当に幸せなことだと感じ、当たり前前になっていることのあることがたまたま感じながら生活していた、という内容でした。

自分が当たり前前と思っていることが、他から見るととてもよいことだったり、認められないことだったりすることがあります。また、自分たちの当たり前と違う言動をする人を排除する行為がいじめにつながることもあると思います。

子どもたちには、教科等の学習、様々な人の考えと出逢う体験や集団生活を通して、自分が考える当たり前前を見直し、違う考えも受け入れ、視野を広げる学びをして欲しいと思います。

また、教師としても感じることはありません。秋田県で取り組んできた当たり前前の教育実践が、他県からとてもいい実践だと言われたことがありました。私自身、中学校教師として考えていた当たり前前が、小学校や高校、特別支援学校の教師の考えと違うと感じたこともありました。私たちも他校や他県、他の校種の実践に触れ、自分たちの当たり前前の実践を見直すことにより、その実践のよさを確認

県総合教育センター公開講演

研修のいい機会です。ぜひ、ご参加を！

8月8日(月) 13:30~16:00

演題「通常学級のユニバーサルデザインと合理的配慮」

(東京都立青山特別支援学校

主任教諭 川上 康則 氏)

9月16日(金) 14:00~16:00

演題「言語活動を効果的に位置付けた授業の改善のポイント」

(文部科学省初等中等教育局

教育調査課 調査官 大滝 一登 氏)

10月21日(金) 14:00~16:00

演題「学校の危機状況における心のケア」

(秋田大学教育文化学部

准教授 北島 正人 氏)

輝きの一場面 浅内小学校



楽しい学校はぼくたちの力で
「児童会総会」H28.4.20

したり、よりよい実践を探ったりする必要があるのではないかと思っています。
ちなみに、毎朝玄関前で子どもたちが登校してくる当たり前前の光景を見ながら、がんばって登校してくる子どもたちを応援し、送り出してくれる保護者に感謝したいと思っています。

我が校の新たな風物詩

「東中(ひがしちゅう)ソーラン」

能代東中 教頭 菊地 天



わが能代東中は、昨年度の学校祭で学級対抗コンクールの一つとして「東中ソーラン」を行いました。オリジナルの「東中ソーラン」をいかに創作的に踊るかを競いました。今年度の運動会では、二・三年生全員で「東中ソーラン」を披露しました。ほんの少しだけの全体練習で躍動感に溢れ一体となった生徒たちの姿は、誇らしげでとても頼もしく見えました。先輩たちの姿を見た一年生も、早く「東中ソーラン」を踊れるようになりたいと思つたことでしょう。九月の学校祭が今から楽しみです。